

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護形態機能学Ⅱ	1年次 前期	必修	講義	2単位（30時間）	野上 聡子 ※
授 業 概 要					
日々営まれる日常生活行動の視点から、からだの構造と機能を学習する。形態機能学Ⅱでは、日常生活行動である「息をする」「動く」「眠る」「話す」「聞く」を支えるからだの仕組みについて学ぶ。					
到 達 目 標					
基本的な日常生活動作がどのようなからだの構造と機能で成り立っているのかを説明する。 1. 「息をする」に関わるからだの仕組みについて説明する。 2. 「動く」に関わるからだの仕組みについて説明する。 3. 「眠る」に関わるからだの仕組みについて説明する。 4. コミュニケーションに必要な「話す」「聞く」ことに関わる体の仕組みについて説明する。					
実務経験のある教員					
野上 聡子、小林 大輔：看護師の臨床経験をふまえて基本的な生活行動における形態機能について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-6	1. 息をする 1) 呼吸運動の神経支配 2) 呼吸運動 3) 上・下気道 4) 肺気量 5) ガス交換 ①外呼吸・内呼吸 ②血液によるガスの運搬と分圧 ③酸塩基平衡				小林 大輔 ※
7-15	2. 動く 1) 姿勢 2) 神経から筋への指令と筋の収縮 3) 意図的でない運動 — 反射 4) 意図的な運動 — 随意運動 5) 骨格・骨格筋・関節 6) 日常生活での基本的動き 3. 眠る 1) 人はなぜ眠くなるのか 2) からだのリズム 3) 眠り 4) 睡眠の主観的評価 4. 話す・聞く 1) 声を出す 2) 聞く 3) 言葉				野上 聡子 ※
学 習 方 法					
講義、課題学習、演習					
評 価 方 法					
科目修了試験、課題学習					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 菱沼典子 日本看護協会出版会 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 坂井健雄 他著 医学書院					